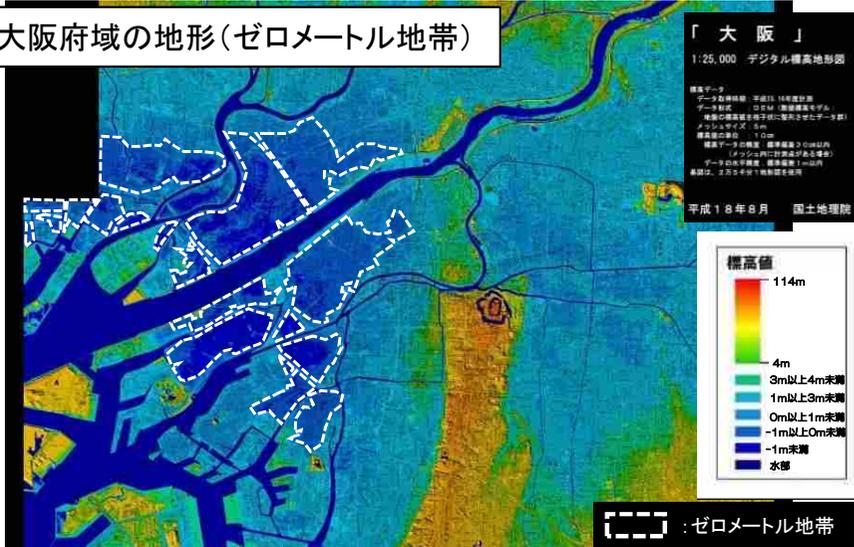


～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

～複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造に対応～

- 大阪府域では複数河川が低平地を貫流しており、下流部では人口・資産が集積したゼロメートル地帯が大阪湾へ向けて広がることから洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがある。
- このため、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

大阪府域の地形(ゼロメートル地帯)



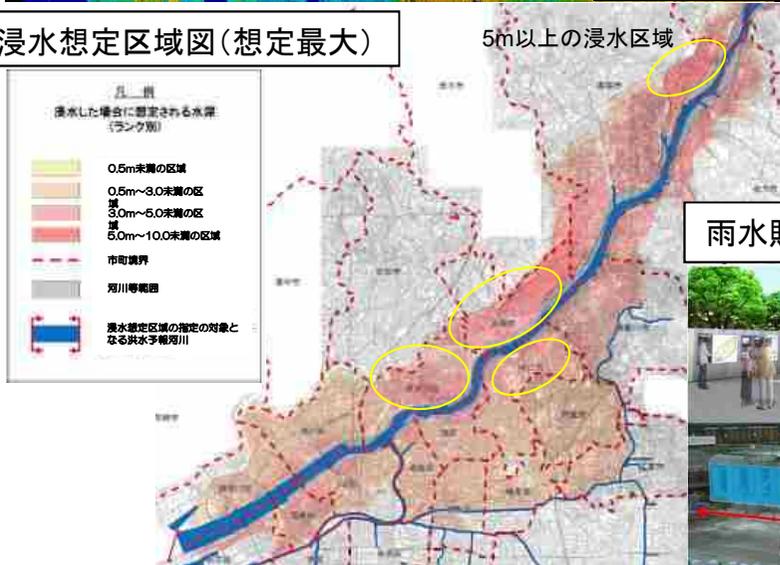
雨水幹線整備



排水施設整備(ポンプ場)



浸水想定区域図(想定最大)



雨水貯留浸透施設整備



河川防災ステーション



- 【災害時の活用】
- ① 緊急復旧用資材備蓄基地
 - ② 災害対策車輛基地
 - ③ 車輛交換場所
 - ④ ヘリポート
 - ⑤ 洪水時の現地対策本部
 - ⑥ 水防団の待機場所
 - ⑦ 水防倉庫
 - ⑧ 一般住民の避難場所